

議事要旨

会議の名称	第6回砧地区公共交通協議会
開催日時	令和3年12月21日(火) 18:00~19:45
出席者 (敬称略)	<p>砧町町会：長島、山根、松原</p> <p>砧町自治会：鈴木、清水</p> <p>祖師谷南商店街振興組合：小島、黒田、阿久津</p> <p>事務局：交通政策課長 堂蘭、交通企画担当係長 尾崎、交通企画担当 青木、大高</p> <p>砧まちづくりセンター：所長 大橋、係長 石綿</p>
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 これまでの検討経過と地域の声について 2 区内他地域の取組みについて 3 その他について
議事要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 これまでの検討経過と地域の声について 令和3年度に実施した勉強会の結果報告と、地域の声を踏まえコミュニティ交通(運行計画案)の課題を確認した。 2 区内他地域の取組みについて 東急バスの玉04・05系統運行形態変更の取組みについて紹介した。 3 その他について 他自治体のデマンド事例を参考に、デマンド交通について意見交換をした。 <ul style="list-style-type: none"> ・ デマンド交通は地方では500円くらいになるのは仕方ないが、都内ではバスは220円と頭にインプットされているので、料金の考え方は重要になるのではないか。 ・ バスだと300~500円は高く感じるが、乗合タクシーと考えると料金の感じ方も変わってくる。 ・ デマンド交通はバスとは違った感覚である。自宅近くに乗降場が出来ると使いやすくタクシー感覚に近い。また、ワゴン車両を使用するといったことも通常のバスとは違うため、デマンド交通の導入を検討するのであれば、地域の方々には新しい交通手段といった認識を持ってもらうことが大切ではないか。 ・ コミュニティ交通を早く運行して欲しいという声や、健康寿命に寄与することから採算は二の次ではないかといった声もあると聞いている。 一方、コミュニティ交通が直接的に健康寿命に寄与するデータがないところが、難しいところだと感じる。 ・ デマンド交通は予約制で、いつでも乗れるものではないし、予約システムを使いこなすのに時間がかかるのではないか。使い方などを含めた周知 PR が大切である。 ・ 今後10年、20年後には移動手段もデマンド交通のような形態になってくるの

	<p>ではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none">・ これまで我々は定時定路線型で色々検討をしてきたが、乗りこぼしのリスクを含む現状の様々な課題や昨今のデマンド交通の事例を踏まえると、デマンド交通の方がいいのではないかという議論になってくる。・ 地域にとって必要性があるかだと思ふ。本当に必要なら登録して利用したいと思う人が増えると思う。また、撤退要件の考え方も大切である。・ コミュニティ交通は黒字にするのは難しい。高齢者は80歳を超えると自転車に乗れなくなってきて、駅まで歩けなくなる傾向がある。歩きにくくなった方々が目的地まで行く手段として、タクシーを毎回呼ぶわけにはいかない。コミュニティ交通の検討にあたっては、福祉的観点を取り入れながら考えるべきではないか。・ 協議会・勉強会をはじめ、地域の方々への対応含めて整理したほうが良い。
--	---